

# 藻類にも強い。

だから、なぎ倒しや水温低下も防ぎます。

「稲の生育が悪い」と思うことはありませんか？

その原因は、水田の「藻類」かもしれません。

クラールはノビエ、ホタルイなどの一年生雑草に効果を示す

「ブタクロール」だけでなく、藻類の発生を抑える「ジメタメトリン」を配合。

藻類のないクリアな水田を長期間キープするから、

稲のなぎ倒しや、水温低下も防ぎます。

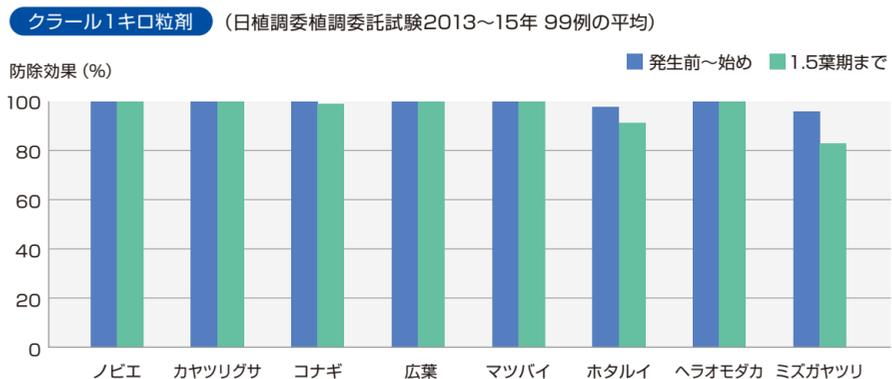
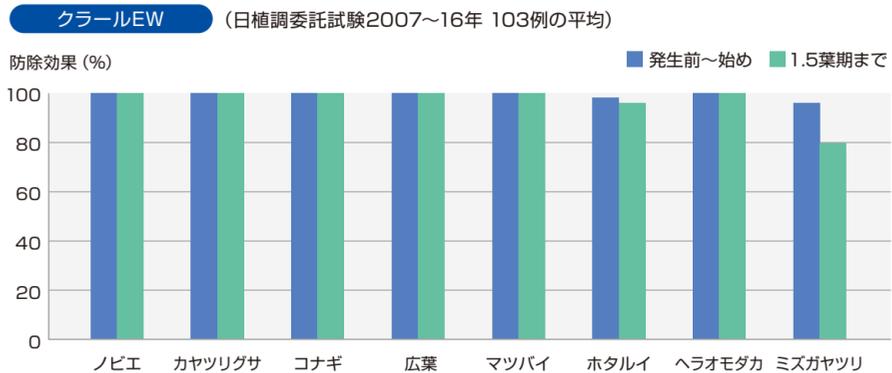


EW

1キロ粒剤

商品名	登録番号	有効成分		容量
		ジメタメトリン	ブタクロール	
クラールEW	第23507号	0.50%	20.0%	500ml
クラール1キロ粒剤	第23820号	0.30%	7.5%	1kg

## 安定した効果は委託試験でも確認されています



### 【適用雑草と使用方法】

作物名	適用雑草名	使用時期	剤型・使用量	本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	植代後～移植7日前又は移植後1日～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで	EW: 500ml/10a	本剤:1回 ジメタメトリン剤:2回以内 ブタクロール剤:2回以内	原液湛水散布
		移植時	1キロ粒剤: 1kg/10a		田植同時散布機で施用
		植代後～移植7日前又は移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで			湛水散布又は無人航空機による散布

●苗に付着すると軽微な薬害を生じることがあるので本剤を移植後に散布する場合は水稲になるべくかからないようにしてください(EW)。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2018年7月現在の登録内容に基づいています。  
**日産化学株式会社**  
 東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>  
 お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)  
CLR-SPR2A

# クリアな水田をキープしたい。



### 水稲用初期除草剤

# クラール<sup>EW</sup>

1キロ粒剤

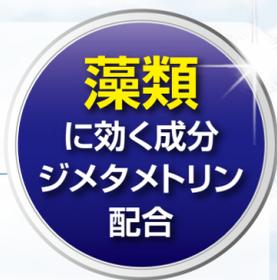


EW

1キロ粒剤

## 藻類への効果

藻類の発生を抑える『ジメタメトリン配合』。  
クリアな水田を長期間キープします。



クラールEW 500ml/10a



対照剤A乳剤 300ml/10a

試験場所: 宮城県大崎市  
試験規模: 10a

移植日: 5月15日 処理日: 5月18日  
撮影: 処理7日後

2016年 日産化学社内試験



クラール1キロ粒剤



対照剤B 1キロ粒剤



対照剤C 1キロ粒剤



無処理

試験場所: 富山県射水市  
試験規模: 1㎡ (1×1m)

移植日: 5月17日 処理日: 5月17日 (移植直後)  
撮影: 処理17日後

2016年 日産化学社内試験

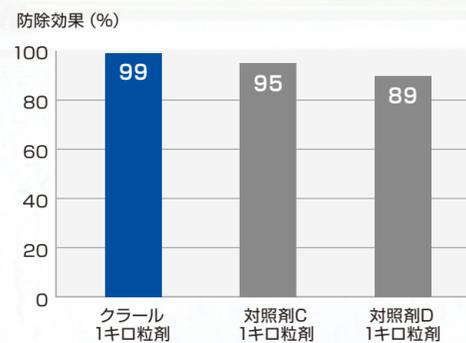
## 藻類以外の雑草への効果

藻類だけでなく、初期剤に求められる性能も高いレベルで満たしています。

### ノビエの発生をしっかり抑えます



ノビエ



試験場所: 埼玉県白岡市 (研究所内)  
試験規模: 1.8㎡ (1×1.8m)

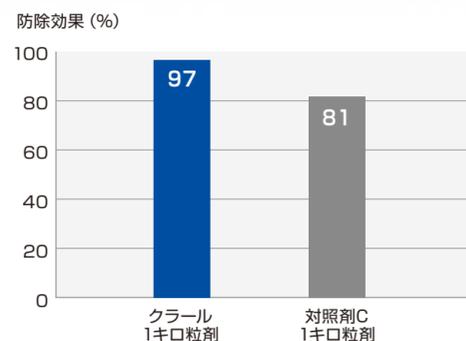
移植日: 4月15日 処理日: 4月15日 (移植直後)  
調査日: 処理31日後

2015年 日産化学生物科学研究所試験

### コナギに対しても安定した効果を発揮します



コナギ



試験場所: 埼玉県白岡市  
試験規模: 40㎡ (2×20m)

移植日: 5月27日 処理日: 5月27日 (移植時)  
調査日: 処理29日後 ※区内5地点の平均値

2015年 日産化学生物科学研究所試験

## 高性能の理由

初期剤として高い性能を有する2つの理由。

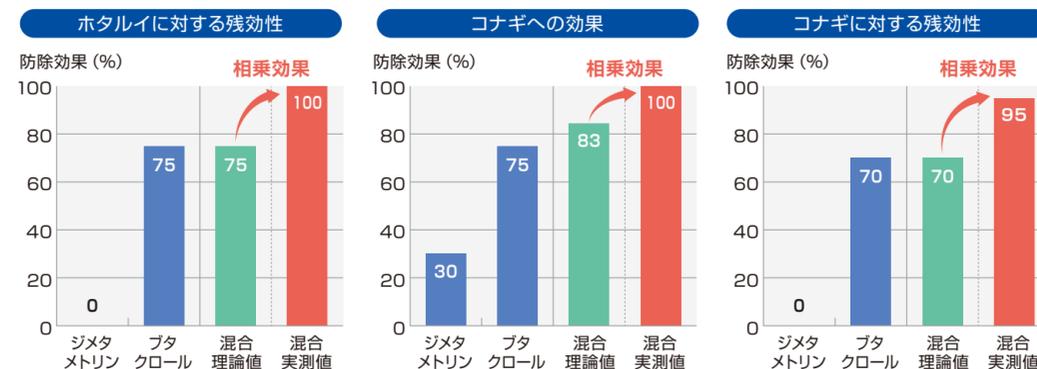
### 1 2つの成分の組み合わせ

除草成分「ブタクロール」と「ジメタメトリン」がお互いをカバーし合うので、幅広い雑草に安定した効果を示します。

有効成分	ノビエ	ホタルイ	コナギ	広葉	藻類
ブタクロール	●	◎	◎	◎	△
ジメタメトリン	—	—	○	◎	◎
クラール	●	◎	●~◎	●~◎	◎

●:非常に効果高い ◎:効果高い ○:効果あり △:効果やや低い —:ほとんど効果なし

### 2 「ブタクロール」と「ジメタメトリン」の相乗効果でより安定して雑草の発生を抑えます。



2000年 日産化学(株)生物科学研究所 温室試験  
[試験概要]薬量:ジメタメトリン0.3g/a、ブタクロール5g/a、ホタルイ・コナギ残効性:薬剤処理3週間後播種 (1/5000aポット)、コナギ効果:1.5薬期処理 (1/10000aポット)